

# 授業を進めるにあたって、共通理解しておくこと

立石小 平成27年版

《趣旨》全ての学年が統一して取り組むことで、担任が変わっても子どもは苦勞しない。  
生活規律や学習規律の定着があって学力向上の取り組みが行いやすくなる。徹底して取り組む。

## (1) 学習用具 …「学習に必要なものは持ってこない」が原則

### ①基本的な持ち物

1年生 ①筆箱 ②連絡帳 ③連絡袋 ④下敷き ⑤自由帳…(5点セット)  
⑥帽子 ⑦ハンカチ ⑧ちり紙 ※暑くなるころには帽子をかぶらせる。

### ②筆箱の中味

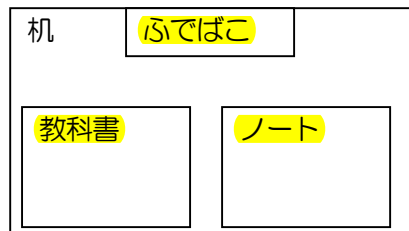
- ・鉛筆 5本から8本(家で削ってくる) 1年…3B、2年生以上…2B～B(シャープンは使わない)
  - ・消しゴム 1個(キャラクターや匂いのない、よく消える物)
  - ・赤鉛筆または赤ペン(丸つけ用) ・定規
  - ・その他、三角定規、コンパス、フェルトペン(名前ペン)、分度器など
- ※鉛筆の持ち方指導をすること。  
・1～3年生で、徹底して指導、高学年では、子どもの実態に応じて指導する。

### ③机の中(整理・整頓させる)

はさみ、のり、クーピー(色鉛筆)、クレパス(低学年)【箱などを用意させて入れさせる】  
※カッターナイフは持ってこさせない。

### ④体育の時間…体操服、赤白帽子(体操服が小さくなったら、新しいものを揃えさせる。)

### ⑤机の上の道具の置き方



### ※学習用具を忘れたときの対応の仕方

- ・体操服…見学をさせる。(用具の準備や審判など実技以外のことで授業に参加させる。)
- ・習字道具、水彩道具…原則として人には借りず、ほかの方法で授業に参加させる。
- ・教科書…隣の席の子に見せてもらう
- ・ノート…紙を与えて書かせ、後で必ずノートに書き写させるか、紙をきちんと貼るところまで指導する。

## (2) 宿題…「学習時間の確保と学習内容の定着(スパイラル)」が原則

◎その日の授業の復習になるような内容にする。(授業と宿題の一貫性)ときどき前学年の復習。

◎毎日の宿題(どのくらいの量を出しているか)の目安

・学年×10分が目安

- 《例》 1年生…国・算プリント、音読、あのね帳(週末)  
2年生…音読(九九練習)、算数(国語)プリント、漢字、作文(週末)  
3年生…作文200字、漢字・プリント・音読から2つ  
4年生…作文400字、計算、漢字(音読)  
5年生…漢字、計算プリント、作文(週末)、自主学習  
6年生…国語(プリント、漢字、音読)、算数プリント、自主学習

### ※宿題をしていない子への対応

・していない子はその日のうちにさせる。…朝読書・チャレンジタイムの時間にはさせない。

- ・休み時間、昼休みなどを使う。

### ※長期休業中の宿題についての取り扱い

- ・登校日(夏休み)に宿題のチェックをする。
- ・していない子は別に登校日を決めて登校させ、低・高学年部ごとに指導にあたる。

### (3) ノート指導…「学習の足跡が見えて見直しに使える」が原則

○教科ごとに必ずノートに分ける。

○ノートの取り方

・「日付」「ページ」「単元名」「課題」「まとめ」は必ず書く。

- ・1時間の授業の中で、書く活動を必ず入れる。
- ・下敷きを使って書く。

・見やすく書く。(余白を十分取る)

・学習の過程が分かるように書く。(自分で学習の振り返りができるように。)

・定規を使う。(図や筆算のときはできるだけ使う。)

○ノートの字が汚いときは、やり直しを必ずさせる。日常での声かけと指導。

### (4) 発表のルール(教室の前面掲示を参考にする)

・指名されたら…「はい」(必ず言わせる)

- ・立ったらイスを机の中に入れて発表する。
- ・みんなの方を向いて発表する。

・聞く人は、話している人の方を向いて聞く。

- ・みんなに聞こえるように、大きな声ではっきりと発表する。(「声のものさし」活用)
- ・「～です。」まできちんと言う。
- ・わけが言えるときは、「わけは～です。」
- ・「～でどうですか」「私は～と思います」→「同じです」「賛成です」「他にあります」「つけくわえます」等
- ・話す人が話し終わってから、発言や質問をする。

### (5) いすの座り方

- ・うわぐつのかかとを踏まずにきちんと履く。
- ・足を床にべたんをつける。(イスの高さを調整する)
- ・背筋を伸ばして座る。

### (6) 朝読書

・8:15までに、本を選んで席に着く。

- ・読書以外のことは絶対にさせない。
- ・朝読書は「文字指導」ととらえ、本の内容も考慮する。(漫画、図鑑など文字の少ないものは避ける。)

### (7) チャレンジタイム

- ・必ず前日までにプリント等準備をしておく。10分から15分でできる問題。工夫する。
- ・答え合わせをし、まちがった問題は、時間内あるいはその日のうちに必ずやり直しをする。

### (8) 時間を守る

・次の時間の用意(教科書、ノートを机の上に出す)をしてから、トイレや遊びに行く。(文房具は必ず筆箱の中に入れておく。)

※授業と授業との間の5分は休憩や休みではない。次の授業の準備や教室移動、そしてトイレに行かせる。

- ・放送と同時に遊びをやめる。
- ・時間と同時に授業が始められるようにする。(授業の準備)
- ・時間がきたら授業をすぐやめる。(45分間で「まとめ」までいけるように意識して授業を行う。)

### (9) 教室間を移動するとき(特別教室、体育館)

・並ばせるときは、先頭の子どもが手を挙げる。(「前ならえ」の合図)  
並んだら、手を下ろす。(「なおれ」の合図) ※声を出さずに並ばせる。

・しゃべったり走ったりせず、静かに歩いて移動する。

・教室へ戻るときも同じ。(できるまでは教師がつく。)

◎ 学習規律は各学期はじめに子どもたちへ徹底! (教務・教頭が確認)